

ミクロネシア連邦ポンペイ州における脱炭素化支援事業の概要

【事業概要】

事業名	海士町・ポンペイ州における脱炭素社会の実現に向けた 官民連携モデル地域構築事業
コンソーシアム 構成機関	海士町、日本エヌ・ユー・エス株式会社、中国電力株式会社、 イームル工業株式会社による共同実施
対象地域	ミクロネシア連邦ポンペイ州
期間	2025 年 8 月～2026 年 3 月 ※2026 年 4 月以降も、1 年ごとに次年度計画を提案し、環境省から採択されることを条件に 2028 年 3 月まで継続する
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小水力発電、太陽光発電の導入検討 ・系統安定化手法の調査、導入検討 ・環境政策に係る自治体間交流 ・脱炭素施策の提案
役割	[海士町] 環境政策に係る知見共有 [日本エヌ・ユー・エス] 業務管理/事業化支援/脱炭素施策検討 [中国電力] 電力系統安定化手法の調査、導入検討/小水力発電・太陽光発電の適地調査 [イームル工業] 小水力発電仕様検討

【各社の概要】

◇日本エヌ・ユー・エス株式会社

代 表 者：代表取締役社長 近本 一彦

設 立：1971年

所 在 地：東京都新宿区西新宿 7 丁目 5 番 2 5 号 西新宿プライムスクエア 5 階

事 業 内 容：エネルギーおよび環境に関するコンサルティング業務

◇中国電力株式会社

代 表 者：代表取締役社長執行役員 中川 賢剛

設 立：1951年

所 在 地：広島県広島市中区小町4番33号

事 業 内 容：電気事業、総合エネルギー供給事業 等

◇イームル工業株式会社

代 表 者：代表取締役社長 増子 利健

設 立：1947年

所 在 地：広島県東広島市八本松町原10852-1

事 業 内 容：水力用発電機器および周辺機器の設計・製作・販売・修理

【ミクロネシア連邦の概要】

太平洋西部に位置し赤道北部を東西約 2,500km にわたって広がる連邦国家で、ヤップ・チューク・ポンペイおよびコスラエの 4 つの州からなり、数百の島々で構成。

- ・人口：11.3 万人(2024 年、世界銀行)
- ・面積：700km² (奄美大島と同程度)
- ・首都：パリキール (ポンペイ州)
- ・言語：英語 (公用語) ほか
- ・主要産業：水産業、観光業、農業
- ・名目 GDP：4.7 億ドル(2024 年、世界銀行)、
4.3 億ドル(2022 年、ミクロネシア連邦資源開発省)
- ・実質 GDP*：2.6 億ドル(2022 年、ミクロネシア連邦資源開発省) *2014 年基準
- ・経済成長率：0.7% (2024 年、世界銀行)

【ポンペイ州の概要】

ミクロネシア連邦の 4 つの州の 1 つであり、25 あまりの島々で構成され、主島ポンペイ島には、州都コロニアと首都パリキールがある。

- ・人口：3.7 万人(2021 年、ミクロネシア連邦資源開発省)
- ・面積：345km² (隠岐諸島と同程度)
- ・州都：コロニア
- ・実質 GDP*：1.3 億ドル(2022 年、ミクロネシア連邦資源開発省) *2014 年基準

【電力概況】

	ポンペイ州	チューク州	コスラエ州	ヤップ州
最大電力[kW]	6,600	2,700	1,200	2,300
ディーゼル発電[kW]	13,000	8,000	6,000	6,000
太陽光発電[kW]	980	250	345	500
風力発電[kW]	0	0	0	825
水力発電[kW]	725	0	0	0
電気料金[USD/kWh]	0.53	0.47	0.43	0.42

出典：アジア開発銀行「Renewable Energy Development Project」(2019)

【位置情報】



出典：外務省



出典：Google Maps